

目指す学校像

明日の登校を
楽しみに
できる学校



自主・自律 敬愛 協働

鶴中だより

町田市立鶴川中学校 TEL 042-735-2405 FAX 042-735-2401

鶴川中学校だより

第5号

2026年6月8日発行

町田市立鶴川中学校

CLICK!

検索

1 6月1日朝礼講話

校長 大石 眞二

おはようございます。先週、大盛況のうちに幕を閉じた体育祭、本当にお疲れ様でした。この一ヶ月間、皆さんは本当に中身の濃い、熱い日々を過ごしてきましたね。先生は、皆さんの競技中の姿はもちろんですが、それ以外の場面でもたくさんの「カッコよい姿」を目にしました。自分の競技が終わった瞬間、次の係の仕事のためにグラウンドを全速力で走っていく姿。仲間を鼓舞するために声を掛け合った円陣。そして、クラスの思いが詰まった素晴らしい横断幕。どこを見ても、皆さんの主体性と輝きがあふれていました。以前、私は「体育祭こそ、協働（協力して働くこと）を発揮する一番の機会だ」と話しました。皆さんは今、それを実感できているのではないのでしょうか。



一つの目標に向かって、みんなで知恵を出し合い、努力を重ねる。結果として勝ち負けはつきませんが、たとえば思うような結果が伴わなかったとしても、皆さんの胸には、それ以上の大きな充実感が残ったはずです。1・2年生はまた来年、再来年があります。しかし、3年生は中学校生活最後の体育祭でしたね。3年生の頑張りは最高学年にふさわしいもので、本当に心に残っています。君たちのリーダーシップと熱い姿は、しっかりとこの鶴中の伝統に、深い「爪痕」を残してくれました。

さて、素晴らしい体育祭を創り上げた皆さんだからこそ、ここからの「切り替え」が極めて重要になります。今月は、皆さんの前に「定期考査」という次の山が控えています。定期考査もまた、目標に向かって努力を重ねる大切な機会です。しかし、体育祭のように勢いだけで乗り切れるものではありません。何よりも「普段の授業への取組」が問われる三日間となります。時代は今、「AI 全盛の時代」です。スマートフォンやパソコンに問いかければ、一瞬で答えが返ってくる時代です。もしかしたら皆さんの中には、「AI が何でもやってくれるのに、今さら苦勞して勉強して何になるのだ」と、開き直りたくなる人もいるかもしれません。しかし現実とは逆で、AI 全盛の時代だからこそ、勉強が必要になるのです。AI を正し

く使いこなすためには、そもそも何を問いかけるべきかという「元となる知識」が必要です。そして、AI が出してきた答えが本当に正しいのか、どう活用すべきかを判断する「理解する知識」が、私たち人間に強く求められているのです。

勉強ができる人、いわゆる「学びが深い人」というのは、ただ点数が良い人のことではありません。「自分が何を知っていて、何が分かっていないか」を正しく自覚できている人のことです。自分が「分からない」ということに気づくこと。そこから全てが始まります。「分からない」を知り、それを探究していくことで、人間の心は耕され、人生は豊かになっていきます。3年生にとっては、いよいよ自分の進路を決定していくための重要なテストが始まります。そして1・2年生も、「ただ点数を取るため」だけではなく、定期考査の本当の意義をしっかりと考えて取り組んでほしい。今日からまた、気持ちをグッと切り替えましょう。目標を定め、計画的に準備を重ねて、日々の授業と定期考査に全力で向かっていくことを期待しています。以上で、私のお話を終わります。

2 体育祭参観御礼

5月23日(土)の予行と27日(水)の体育祭当日を合わせて、約1000名の保護者や地域の方々にご参観いただきました。当日は暑い中、熱心にご声援を送っていただき、誠にありがとうございました。また、体育祭アンケートにもたくさんご回答いただきました。アンケート結果を共有し、次年度以降の参考にさせていただきたいと存じます。

【アンケート記述一部抜粋】

・どの学年も転んでも負けても投げやりになることなく一生懸命頑張る姿がとても印象的でした。小学校の運動会で楽しかったと言った年はなかったのですが、体育祭はとても楽しかったと話していて私もうれしくなりました。

・クラス全員リレーがあると知り、運動が苦手な子もいる中で、ちょっと酷なのではないかと思いましたが、昨年も今年もクラスで走順を練りに練って得意な子がカバーするような作戦を練るなど、子どもたちの懐の深さに感銘を受けました。

・練習でたくさん頑張っていたことを聞いていたので、当日頑張っている姿に涙が出そうになりました。観ている保護者も各学年で優先を譲り合うなど、気持ちよく体育祭を満喫できました。

・連絡事項をこまめにテトルでお知らせいただいたり、プログラムの色分けを学年ごとに工夫していただいたりと、とても分かりやすく安心して参加することができました。

・通常級と支援級の生徒がともに手を取り合い、補い合いながらゴールを目指す姿は本当に素晴らしく、胸が熱くなりました。

◎このほかにもたくさんの方の心温まるメッセージをいただき、本当にありがとうございました。平日開催については賛否両論いただきました(テントの確保、警備・医療機関・土日早朝のバスダイヤ・雨天対応・部活動の日程等メリット・デメリットを総合的に判断して平日開催とさせていただいております)。予行と2回お弁当を用意することについては改善要望のご意見をいただきました。午後の後片付けのため、昼食をなくせず申し訳ありません。給食の手配を試みましたが給食配膳車両が敷地内に入れないことから断念しました。午前中半日開催については、熱中症対策の観点から今後もそうさせていただきます。